

あなたも『おとう飯』に参加してみませんか?!

公民館講座『みんなの料理教室』では、男性におすすめのメニューを揃えて参加者をお待ちしています。すぐに自宅でふるまいたくなる魅力的なメニューを揃えた講座です。ぜひ、参加してください。参加者には、『おとう飯』エプロンをプレゼントします。

※
2021 6.21 Mon. 『ラーメン屋さんのチャーシュー』
▷講師 佐々木 優作さん

2021 11.19 Fri. 『簡単にできるアップルパイ』
▷講師 佐々木 和子さん

2021 12.4 Sat. 『年越しそば打ち(天ぷらつき)』
▷講師 渡辺 勇さん

2022 1.22 Sat. 『にかほ産大豆で味噌作り』
▷講師 浅倉 ひろ子さん

▷時間 9:00~12:00 ※のみ18:00~
▷会場 仁賀保公民館(むらすぎ荘)
▷材料代 500円~1,500円程度
※メニューによって金額が異なります。申し込みの際にお確かめください。

女性におすすめのメニューもあるよ!

『みんなの料理教室』では、男性におすすめ、女性におすすめのメニューをそれぞれ準備していますが、どちらに参加することも可能です。詳しくは、「令和3年度にかほ市生涯学習のすすめ」3ページをご覧ください。

問合せ先 仁賀保公民館 ☎ 37-3121

男女共同参画コーナー 市内図書館3館に開設

6月の「男女共同参画推進月間」にあわせて、市内図書館(図書館こびあ、仁賀保分館(仁賀保勤労青少年ホーム)、象潟分館(象潟公民館))では、期間中、関連図書を集めた特設コーナーを設置します。各館選りすぐりのお薦め本からお気に入りの1冊を探してください。

問合せ先 図書館こびあ ☎ 32-4100
仁賀保分館 ☎ 35-4711
象潟分館 ☎ 43-2229



パパが作ったランチ「いただきます」



おとう飯を作る武内さん

「おとう飯」を作った感想

2人とも食欲旺盛でたくさん食べてくれるので作り甲斐があります。お手伝いも頑張ってくれるのでギョウザの皮つつみを一緒にしたりしています。

お母さんから

チャーシューを圧力鍋で炊いたり、スパイスを使ったカレーを作ってくれたり、結構本格的なんですよ。



右記調査の詳細はコチラ

秋田県の調査「男は仕事、女は家庭」という考え方をどう思うか」という質問に対する回答では、男女とも半数以上が反対と答えています。意識のうえでは、性別で社会的な役割を分担するという感覚は薄れてきていることが数字に表れています。この調査は、男女共同参画そのものに対する考え方や、職場における意識など幅広く実態を報告していますので、興味のある方は秋田県の公式HP「美の国あきたネット」から報告結果をご覧ください。



右記調査の詳細はコチラ

「おとう飯」始めよう」は、2017年6月に内閣府が開始した「子育て世代の男性の家事・育児への参画推進」を目的としたキャンペーンです。掃除、洗濯、子どもをお風呂に入れる、ごみをまとめて出すなどの家事全般の中で、男性の参加率が低いとされているのが「炊事(食事の支度)」です。秋田県の調査においても、「家周りの仕事(雪かき、大工仕事等)」や「近所づきあい、町内会行事への参加」などの外仕事は圧倒的な割合で男性の参加が見られるものの、炊事、洗濯、部屋の掃除など「家事」分担に関しては、女性が多く担っている現状が見られます。

▷メニュー/自家製チャーシュー入り炒飯、わかめの中華風スープ、お肉たっぷりギョウザ▷調理にかかった時間/30分
▷調理のポイント/自家製チャーシューもギョウザも前の日の作り置き。ランチメニューなので、ささっと作っちゃいます。



あなたも一緒に『おとう飯』はじめよう!



今年のおとう飯を務めた武内さん

武内さんファミリー
ご夫婦と5歳のお姉ちゃん、2歳の弟くんの4人家族。「週末はほとんど台所を任せています」とお母さん。「その間、子どもと一緒に遊んだり、少しリラックスタイリ」と子ども達もお父さんの料理が好きなので喜んでくれます」と笑顔。「結婚前から料理は好きでしたし、実家の父も料理が好きなので、自然に台所に立っていました」とお父さん。いつもお子さんのリクエストに添えてメニューを決めるそうですが、とある日曜日のランチメニューは…



武内さんファミリー